

③認定者の属性内訳

ア. 年齢階層別

A市の認定者の属性を年齢階層別にみると平成13年度では、65歳以上の第1号被保険者数は65歳以上75歳未満で26,709人、75歳以上で17,372人であった。また、第2号被保険者数は、98,499人であった。

平成14年度では、第1号被保険者数は65歳以上75歳未満で27,452人、75歳以上で18,397人であり、平成13年度に比べると、それぞれ約3%（65歳以上75歳未満）、約6%（75歳以上）増加している。

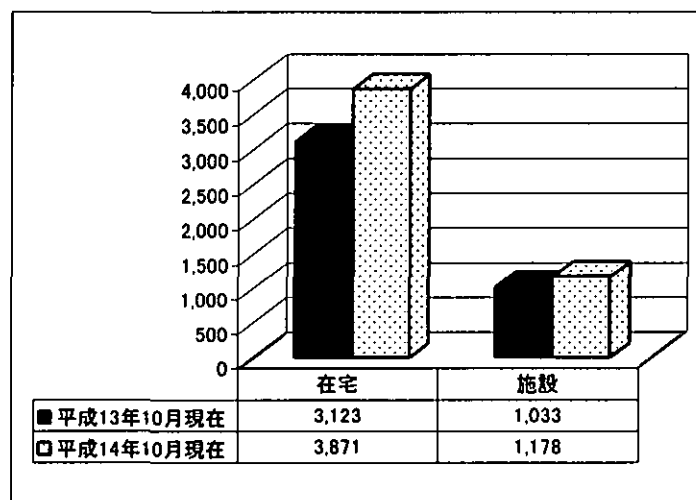
表Ⅲ-1-13 年齢別被保険者・要介護認定者数

			各年4月1日現在（単位：人）							
区分			被保険者数	要介護認定者数計	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
平成13年度	第1号被保険者	65歳以上75歳未満	26,709	823	102	191	183	154	83	110
		75歳以上	17,372	3,607	429	864	842	600	475	397
	第2号被保険者	40歳以上65歳未満	98,499	157	11	31	50	26	17	22
		65歳以上75歳未満	27,452	930	128	254	194	147	113	96
平成14年度	第1号被保険者	75歳以上	18,397	4,259	474	1,082	1,010	690	555	448
		40歳以上65歳未満	99,475	157	6	36	46	28	22	19

資料：福祉保健部高齢福祉・介護課

イ. 居宅・施設入所別

平成13年10月現在で、A市の全要介護認定者のうち3,123名は、在宅で生活を行い、1,033名は施設で生活を行っていた。平成14年10月になると、どちらも人数は増え、3,871名は在宅で生活を行い、1,178名は施設で生活を行っていた。



図Ⅲ-1-10 要介護者の居宅・施設入所の割合

参考文献

	タイトル	編集発行	発行年月
1	A市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画〈おおつご ールドプラン〉【概要版】	A市	平成12年3月
2	平成11年滋賀県患者実態調査	滋賀県健康福祉部	平成13年3月
3	A市基礎データ解析結果報告書	A市福祉保健部健康管理課	平成14年3月
4	介護サービス事業者地域マップ	A市高齢福祉・介護課	平成14年3月
5	地域で豊かに暮らすために ―痴呆を正しく理解する―	監修藤本直規 A市福祉保健部高齢 福祉・介護課	平成14年3月
6	健康管理施策立案のための基礎資料集(グラフ版)	滋賀県国民健康保険団体連合会	不明
7	A市介護保険サービス実践ガイド	A市福祉保健部 高齢福祉・介護課	不明
8	福祉の概要 平成14年度	A市福祉保健部	不明
9	A市新総合保健システム〈基本計画書〉	(株)滋賀富士通ソフトウェア	不明
10	平成13年度介護に関するアンケート調査速報	関西大学大学院社会学研究科高木修 研究室	不明

2.A市における3年間の要介護認定データに関する分析

(1) A市における要介護認定データに関する状況

今回分析の対象となったデータはA市において、平成12年4月から平成15年3月までに介護保険受給対象者として認定をうけた9944名分のデータである。要介護度別認定状況を分析した結果、認定者の資格は、経時的に変化しており、かなり複雑なデータとなっていた。

(2) 認定回数

登録数は9944名であったが、これらの高齢者が2003年3月までに30871件の認定を受けていた。その内訳は新規申請11340件、更新申請19079件、区分変更申請452件となっていた。以上の認定のうち、6回が取下区分却下で二次判定なし、458回が自立判定、529+389回が2003年4月以降に有効期間が始まるデータであり、対象外データとなる。

また、9944名の資格の変化については、死亡:2647人(150名は2000年4月には亡くなっている)、転出:242人(9名が2000年4月には転出している)、その他資格喪失:49名(6名が2000年4月にはその他資格喪失している)であった。結局、9779名(9944-150-9-6)が介護サービスなどとの照合の意味のある対象者となる。

表Ⅲ・2-1 個人ごとの認定申請回数分布(平成15年度) N=9,944

認定申請回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回
N	2495	2001	1521	1241	1435	1094	148	9
(%)	25.1	20.1	15.3	12.5	14.4	11	1.5	0.1

表Ⅲ・2-2 個人ごとの認定申請回数分布(平成14年度) N=8,228

認定申請回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回
N	2247	1620	1435	1740	1066	118	2

(3) 要介護認定における一次判定結果と二次判定結果の乖離

A市の要介護認定における一次判定の結果と二次判定の結果の違いについては、変更率44.3%と全国平均の約30%を大きく上回っている。判定結果の要介護度別分布は、表Ⅲ-1-3に示したとおりである。

表Ⅲ-2-3 一次判定と二次判定との関係 N=30,865

	二次判定							
	自立	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
	N (%)	N (%)	N (%)	N (%)	N (%)	N (%)	N (%)	N (%)
自立	133 (0.4)	314 (1.0)	11 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	458 (1.5)
要支援	17 (0.1)	1894 (6.1)	1781 (5.8)	90 (0.3)	5 (0)	0 (0)	0 (0)	3787 (12.3)
要介護1	1 (0)	1671 (5.4)	5118 (16.6)	2817 (9.1)	314 (1.0)	1 (0)	0 (0)	9920 (32.1)
要介護2	0 (0)	70 (0.2)	923 (3.0)	3450 (11.2)	1332 (4.3)	49 (0.2)	3 (0)	5827 (18.9)
要介護3	0 (0)	4 (0.0)	31 (0.1)	782 (2.5)	2391 (7.8)	988 (3.2)	114 (0.4)	4310 (14.0)
要介護4	0 (0)	0 (0)	0 (0)	39 (0.1)	692 (2.2)	2052 (6.7)	787 (2.5)	3550 (11.5)
要介護5	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (0)	163 (0.5)	700 (2.3)	2142 (6.9)	3012 (9.8)
判定なし	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0.0)
合計	151 (0.5)	3953 (12.8)	7862 (25.5)	7185 (23.3)	4897 (15.9)	3790 (12.3)	3027 (9.8)	30885 (100)

(4) 介護サービス利用者の年齢層

利用者の二次判定日での年齢(概算)は、最も若い者が、40歳で最高齢者は、109歳だった。平均は、81.4歳であった。

表Ⅲ-2-4 介護サービス利用者の年齢

Mean	Min.	Max.	Median	1st Qu.	3rd Qu.	NA's
81.4	40	109	82	76	88	6

(5) 介護サービス利用者の要介護認定基準時間

最小値は、0分、最大値は、178分で平均は、61.3分だった。機能訓練と間接生活介助を加算した時間は、最小値が0分で最大値が51分、平均は、14.2分であった。

表Ⅲ-2-5 介護サービス利用者の要介護認定基準時間

	要介護認定等 基準時間	機能訓練+間 接生活介助	中間評価項目 得点第1群
Mean	61.3	14.2	780.6
Min.	0	0	0
Max.	178	51	1000
Median	53	14	864
1st Qu.	34	9	680
3rd Qu.	84	17	959

(6) 月別の認定状況

平成12年4月から平成15年3月までの各月における認定状況は、表Ⅲ-2-6~8のとおりである。(※なお、死亡された要介護者については、死亡した月から最終月：2003年3月まで死亡という結果を割り振った。よって死亡者については累計である)

表Ⅲ-2-6 調査対象高齢者群の認定の状態の変化(初月 vs 末月)

2003年3月 2000年4月	非該当 N (%)	要支援 N (%)	要介護1 N (%)	要介護2 N (%)	要介護3 N (%)	要介護4 N (%)	要介護5 N (%)
非該当	37 (47.4)	9 (11.5)	11 (14.1)	2 (2.6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
要支援	5 (1.2)	97 (22.7)	112 (26.2)	58 (13.6)	12 (2.8)	6 (1.4)	4 (0.9)
要介護1	1 (0.1)	33 (4.4)	204 (27.0)	165 (21.8)	78 (10.3)	35 (4.8)	14 (1.9)
要介護2	0 (0)	7 (0.8)	78 (8.8)	203 (23.4)	149 (17.2)	93 (10.7)	41 (4.7)
要介護3	0 (0)	0 (0)	15 (2.4)	63 (9.9)	114 (17.8)	122 (19.1)	65 (10.2)
要介護4	0 (0)	0 (0)	1 (0.2)	16 (2.6)	33 (5.3)	141 (22.5)	129 (20.6)
要介護5	0 (0)	0 (0)	1 (0.2)	1 (0.2)	2 (0.4)	27 (5.3)	162 (31.7)
その他の喪失	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
死亡	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
転出	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
未認定・失効	38 (0.7)	707 (12.0)	1414 (24.1)	885 (15.1)	493 (8.4)	332 (5.7)	224 (3.8)
合計	81 (0.8)	853 (8.8)	1834 (18.4)	1393 (14.0)	881 (8.8)	756 (7.6)	639 (6.4)

2003年3月 2000年4月	その他の喪失 N (%)	死亡 N (%)	転出 N (%)	未認定・失効 N (%)	合計 N (%)
非該当	10 (12.8)	0 (0)	9 (11.5)	0 (0)	78 (100)
要支援	67 (15.7)	1 (0.2)	20 (4.7)	46 (10.8)	428 (100)
要介護1	151 (20.0)	2 (0.3)	21 (2.8)	52 (6.9)	756 (100)
要介護2	231 (28.6)	8 (0.9)	12 (1.4)	49 (5.6)	889 (100)
要介護3	221 (34.8)	4 (0.6)	11 (1.7)	23 (3.6)	638 (100)
要介護4	270 (43.1)	8 (1.3)	5 (0.8)	23 (3.7)	626 (100)
要介護5	274 (53.6)	11 (2.2)	5 (1.0)	28 (5.5)	511 (100)
その他の喪失	150 (100)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	150 (100)
死亡	0 (0)	6 (100)	0 (0)	0 (0)	6 (100)
転出	0 (0)	0 (0)	9 (100)	0 (0)	9 (100)
未認定・失効	1031 (17.8)	5 (0.1)	120 (2.0)	624 (10.6)	5873 (100)
合計	2405 (24.2)	45 (0.5)	212 (2.1)	845 (8.5)	9944 (100)

表Ⅲ-2-7 調査対象高齢者群の認定の状態の変化 2000 4 vs 2000 5 (初月 vs 次月)

月 2000年4月	非該当	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他の喪失	死亡	転出	合計
非該当	77	1	0	0	0	0	0	0	0	0	78
要支援	0	420	1	4	1	0	0	0	0	2	428
要介護1	0	0	745	2	2	1	0	4	0	2	756
要介護2	0	0	0	860	2	1	1	3	0	2	869
要介護3	0	0	0	0	626	2	1	8	0	1	638
要介護4	0	0	0	0	0	614	1	10	1	0	626
要介護5	0	0	0	0	0	0	488	23	1	1	511
その他の喪失	0	0	0	0	0	0	0	150	0	0	150
死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6
転出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
合計	78	462	794	917	654	629	501	198	8	17	9944

表Ⅲ-2-8 調査対象高齢者群の認定の状態の変化 2003 2 vs 2003 3 (次末月 vs 末月)

月 2003年2月	非該当	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他の喪失	死亡	転出	合計
非該当	79	0	0	0	0	0	0	0	0	0	79
要支援	0	804	30	3	1	1	0	1	0	2	854
要介護1	0	10	1704	22	6	1	1	13	0	3	1778
要介護2	0	0	23	1317	24	13	2	15	0	0	1402
要介護3	0	0	3	11	832	33	6	6	0	1	898
要介護4	0	0	0	0	2	692	15	12	0	0	728
要介護5	0	0	0	0	0	2	606	18	0	0	627
その他の喪失	0	0	0	0	0	0	0	2328	0	0	2328
死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	45	0	45
転出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	205	205
合計	81	853	1834	1393	881	756	639	2405	45	212	9944

(7) 月別の認定状況

以下の定義により、高齢者の月毎の認定状態データを作成した。上記 9944 名について、2000 年 4 月から 2003 年 5 月までのそれぞれの月に認定状態を与えた。自立認定"1"は再認定があるまで有効とする。その他の認定は認定有効期間(開始)日の月から認定有効期間(終了)日の月まで有効とする。

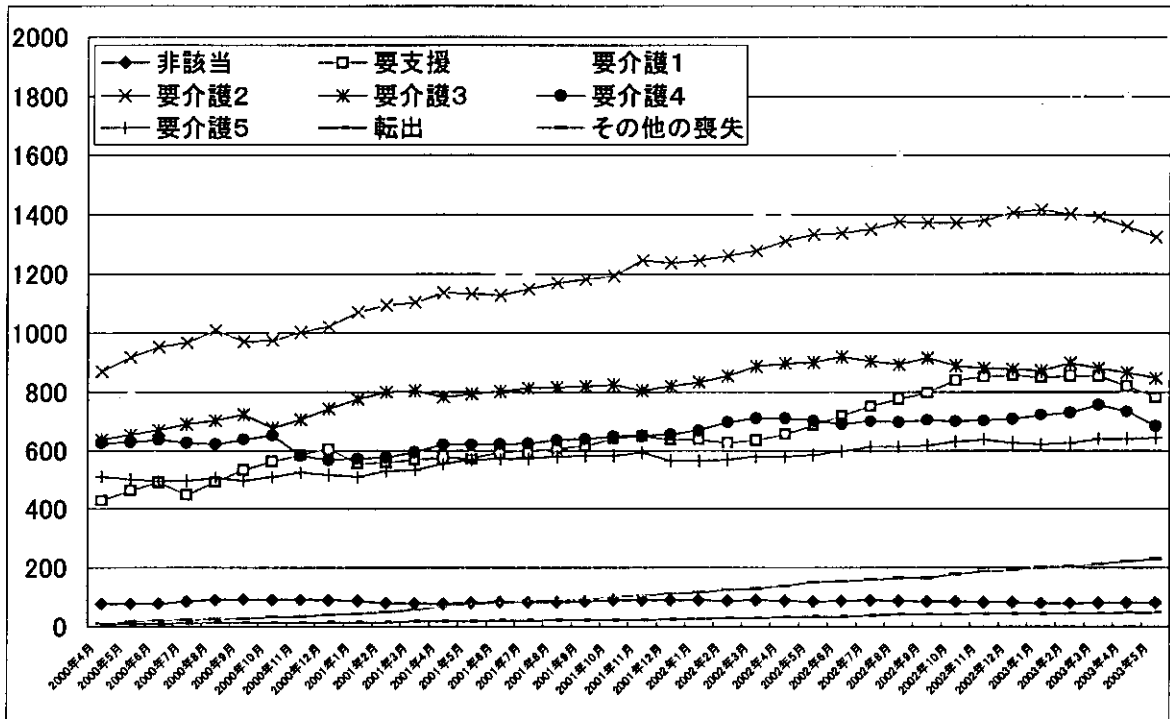
また、同様の定義で、高齢者の月毎の一次判定状態データを作成した。ただし、一次判定で要支援以上の判定であっても、二次判定で自立などとなった場合には、認定の有効期間がないことが生ずる。この場合には、その一次判定が二次判定日の月から 6 ヶ月有効とした。

なお、一次判定に伴って計算される中間評価項目の得点は、次の考え方で有効期間を定め、その間一定であるとしてデータ化した。認定に伴う値は、新たな認定があるまで有効、ただし、死亡など動態による資格喪失の場合、欠測値とした。

各月の認定状態を表および図にしめす。なお、2003 年 3 月までの認定申請データなので、有効なデータは 2003 年 3 月までとなるが、2003 年 4 月は 4 月申請で即月有効となったデータは把握できていない。また、2003 年 5 月は、2003 年 4 月申請で更新分が把握されていない分が減少している。

表Ⅲ-2-9 調査対象高齢者群の各月での認定の状態

	非該当		要支援		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		死去		転出		その他の喪失	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
2000年4月	78	(0.0)	428	(0.2)	756	(0.3)	889	(0.3)	638	(0.3)	626	(0.2)	511	(0.2)	150	(0.1)	6	(0.0)	9	(0.0)
2000年5月	78	(0.0)	462	(0.2)	794	(0.3)	917	(0.4)	654	(0.3)	629	(0.2)	501	(0.2)	198	(0.1)	6	(0.0)	17	(0.0)
2000年6月	78	(0.0)	489	(0.2)	845	(0.3)	952	(0.4)	669	(0.3)	636	(0.3)	494	(0.2)	239	(0.1)	8	(0.0)	19	(0.0)
2000年7月	85	(0.0)	447	(0.2)	912	(0.4)	967	(0.4)	690	(0.3)	626	(0.2)	497	(0.2)	279	(0.1)	10	(0.0)	22	(0.0)
2000年8月	91	(0.0)	492	(0.2)	889	(0.4)	1010	(0.4)	701	(0.3)	623	(0.2)	504	(0.2)	321	(0.1)	11	(0.0)	23	(0.0)
2000年9月	92	(0.0)	533	(0.2)	952	(0.4)	971	(0.4)	722	(0.3)	638	(0.3)	497	(0.2)	371	(0.1)	11	(0.0)	26	(0.0)
2000年10月	90	(0.0)	562	(0.2)	1001	(0.4)	975	(0.4)	676	(0.3)	652	(0.3)	509	(0.2)	430	(0.2)	12	(0.0)	31	(0.0)
2000年11月	90	(0.0)	583	(0.2)	1043	(0.4)	1001	(0.4)	706	(0.3)	582	(0.2)	525	(0.2)	479	(0.2)	12	(0.0)	32	(0.0)
2000年12月	89	(0.0)	605	(0.2)	1079	(0.4)	1022	(0.4)	742	(0.3)	567	(0.2)	516	(0.2)	526	(0.2)	13	(0.0)	39	(0.0)
2001年1月	87	(0.0)	554	(0.2)	1086	(0.4)	1071	(0.4)	774	(0.3)	572	(0.2)	508	(0.2)	597	(0.2)	14	(0.0)	43	(0.0)
2001年2月	79	(0.0)	556	(0.2)	1111	(0.4)	1095	(0.4)	797	(0.3)	576	(0.2)	530	(0.2)	667	(0.3)	14	(0.0)	48	(0.0)
2001年3月	79	(0.0)	568	(0.2)	1128	(0.4)	1105	(0.4)	803	(0.3)	596	(0.2)	533	(0.2)	743	(0.3)	17	(0.0)	56	(0.0)
2001年4月	78	(0.0)	577	(0.2)	1134	(0.4)	1137	(0.4)	783	(0.3)	621	(0.2)	555	(0.2)	802	(0.3)	17	(0.0)	68	(0.0)
2001年5月	80	(0.0)	573	(0.2)	1160	(0.5)	1133	(0.4)	792	(0.3)	621	(0.2)	568	(0.2)	865	(0.3)	18	(0.0)	74	(0.0)
2001年6月	82	(0.0)	596	(0.2)	1206	(0.5)	1128	(0.4)	802	(0.3)	623	(0.2)	571	(0.2)	914	(0.4)	20	(0.0)	78	(0.0)
2001年7月	83	(0.0)	597	(0.2)	1220	(0.5)	1149	(0.5)	812	(0.3)	625	(0.2)	573	(0.2)	987	(0.4)	20	(0.0)	86	(0.0)
2001年8月	83	(0.0)	605	(0.2)	1255	(0.5)	1170	(0.5)	815	(0.3)	636	(0.3)	580	(0.2)	1048	(0.4)	21	(0.0)	91	(0.0)
2001年9月	85	(0.0)	614	(0.2)	1261	(0.5)	1182	(0.5)	819	(0.3)	640	(0.3)	581	(0.2)	1122	(0.4)	21	(0.0)	95	(0.0)
2001年10月	86	(0.0)	641	(0.3)	1286	(0.5)	1192	(0.5)	823	(0.3)	648	(0.3)	582	(0.2)	1180	(0.5)	21	(0.0)	100	(0.0)
2001年11月	89	(0.0)	648	(0.3)	1294	(0.5)	1244	(0.5)	804	(0.3)	651	(0.3)	593	(0.2)	1245	(0.5)	21	(0.0)	104	(0.0)
2001年12月	89	(0.0)	635	(0.3)	1326	(0.5)	1237	(0.5)	818	(0.3)	655	(0.3)	565	(0.2)	1322	(0.5)	24	(0.0)	111	(0.0)
2002年1月	89	(0.0)	638	(0.3)	1347	(0.5)	1245	(0.5)	832	(0.3)	668	(0.3)	564	(0.2)	1398	(0.6)	26	(0.0)	116	(0.0)
2002年2月	86	(0.0)	627	(0.2)	1367	(0.5)	1260	(0.5)	853	(0.3)	696	(0.3)	568	(0.2)	1459	(0.6)	26	(0.0)	126	(0.0)
2002年3月	89	(0.0)	634	(0.3)	1400	(0.6)	1277	(0.5)	886	(0.3)	710	(0.3)	580	(0.2)	1517	(0.6)	29	(0.0)	130	(0.1)
2002年4月	87	(0.0)	655	(0.3)	1412	(0.6)	1311	(0.5)	895	(0.4)	710	(0.3)	580	(0.2)	1590	(0.6)	31	(0.0)	138	(0.1)
2002年5月	85	(0.0)	686	(0.3)	1443	(0.6)	1333	(0.5)	900	(0.4)	702	(0.3)	583	(0.2)	1641	(0.6)	32	(0.0)	150	(0.1)
2002年6月	86	(0.0)	716	(0.3)	1499	(0.6)	1338	(0.5)	920	(0.4)	690	(0.3)	597	(0.2)	1698	(0.7)	33	(0.0)	154	(0.1)
2002年7月	88	(0.0)	750	(0.3)	1547	(0.6)	1351	(0.5)	903	(0.4)	700	(0.3)	613	(0.2)	1770	(0.7)	37	(0.0)	159	(0.1)
2002年8月	87	(0.0)	774	(0.3)	1600	(0.6)	1375	(0.5)	892	(0.4)	695	(0.3)	613	(0.2)	1828	(0.7)	40	(0.0)	165	(0.1)
2002年9月	84	(0.0)	796	(0.3)	1635	(0.6)	1372	(0.5)	915	(0.4)	704	(0.3)	616	(0.2)	1900	(0.7)	40	(0.0)	168	(0.1)
2002年10月	84	(0.0)	838	(0.3)	1671	(0.7)	1371	(0.5)	889	(0.4)	700	(0.3)	631	(0.2)	1977	(0.8)	40	(0.0)	180	(0.1)
2002年11月	83	(0.0)	852	(0.3)	1722	(0.7)	1381	(0.5)	880	(0.3)	702	(0.3)	638	(0.3)	2056	(0.8)	42	(0.0)	189	(0.1)
2002年12月	83	(0.0)	855	(0.3)	1742	(0.7)	1406	(0.6)	878	(0.3)	708	(0.3)	627	(0.2)	2134	(0.8)	42	(0.0)	193	(0.1)
2003年1月	79	(0.0)	847	(0.3)	1757	(0.7)	1417	(0.6)	871	(0.3)	720	(0.3)	620	(0.2)	2232	(0.9)	43	(0.0)	200	(0.1)
2003年2月	79	(0.0)	854	(0.3)	1778	(0.7)	1402	(0.6)	898	(0.4)	728	(0.3)	627	(0.2)	2328	(0.9)	45	(0.0)	205	(0.1)
2003年3月	81	(0.0)	853	(0.3)	1834	(0.7)	1393	(0.5)	881	(0.3)	756	(0.3)	639	(0.3)	2405	(0.9)	45	(0.0)	212	(0.1)
2003年4月	81	(0.0)	816	(0.3)	1797	(0.7)	1360	(0.5)	866	(0.3)	733	(0.3)	640	(0.3)	2478	(1.0)	46	(0.0)	222	(0.1)
2003年5月	80	(0.1)	781	(0.5)	1735	(1.1)	1324	(0.8)	846	(0.5)	683	(0.4)	644	(0.4)	2548	(1.6)	46	(0.0)	230	(0.1)
合計	3204	(2.0)	24739	(15.7)	50024	(31.8)	45443	(28.9)	30843	(19.6)	25048	(15.9)	21673	(13.8)	47444	(30.1)	964	(0.6)	4107	(2.6)



図Ⅲ-2-1 月別の認定状況の推移

表Ⅲ-2-10 9944人が36ヶ月の間、どのような何回目の認定の状態を過ぎたかを集計した結果

第1回認定有効	55961
第2回認定有効	45665
第3回認定有効	34562
第4回認定有効	28055
第5回認定有効	17067
第6回認定有効	3881
第7回認定有効	345
第8回認定有効	7
死亡	42418 (9944名中、2405名は2003年3月末時点で死亡していた)
転出	3655
その他	872
失効	19610 (9944名中、1674名は失効した経験がある)
合計	357984

(8) 年齢ごとの要介護度分布 (全体)

調査対象期間に認定された認定結果を年齢階層別にみると、表Ⅲ・2-11のような分布を示した。また、その結果を図にしたものが図Ⅲ・2-2である。

これらの結果より、どの年齢階層においても、要介護1や要介護2のような、比較的介護の必要量が少ないと思われる高齢者が多いことが見受けられる。

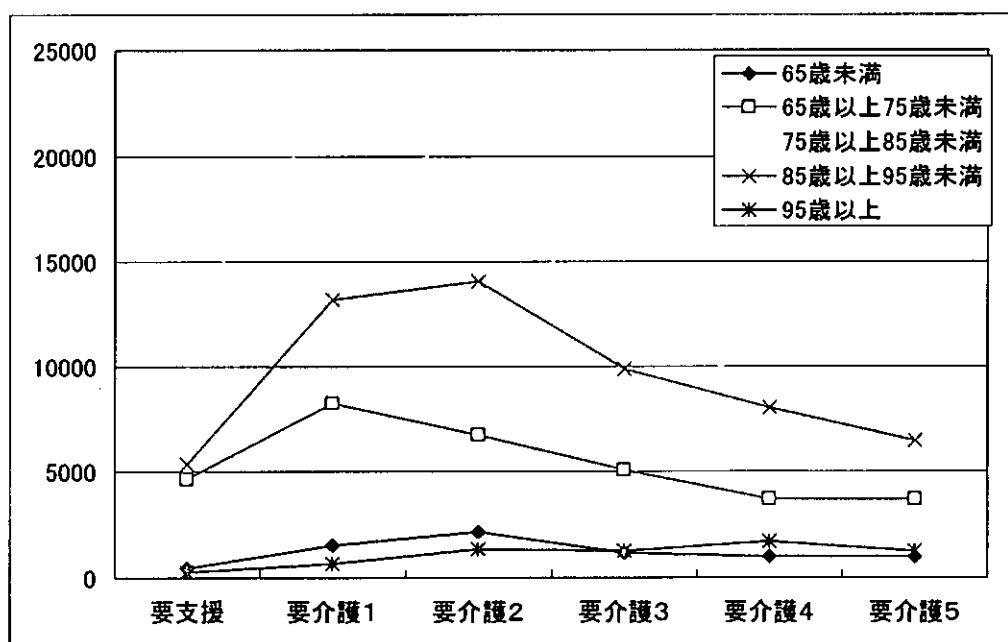
また、この結果は人数が多い年齢階層ほど明らかにみられる。

表Ⅲ・2-11 年齢階層別認定状況

	要支援	要介護度1	要介護度2	要介護度3
	N (%)	N (%)	N (%)	N (%)
65歳未満	468 (0.3)	1560 (0.8)	2191 (1.2)	1170 (0.6)
65歳以上75歳未満	4634 (2.5)	8252 (4.4)	6739 (3.6)	5076 (2.7)
75歳以上85歳未満	12414 (6.7)	22841 (12.3)	18402 (9.9)	11739 (6.3)
85歳以上95歳未満	5352 (2.9)	13173 (7.1)	14059 (7.6)	9871 (5.3)
95歳以上	272 (0.1)	666 (0.4)	1368 (0.7)	1275 (0.7)
合計	23140 (12.5)	46492 (25.1)	42759 (23.0)	29131 (15.7)

	要介護度4	要介護度5	合計
	N (%)	N (%)	N (%)
65歳未満	1014 (0.5)	994 (0.5)	7397 (4.0)
65歳以上75歳未満	3713 (2.0)	3693 (2.0)	32107 (17.3)
75歳以上85歳未満	9123 (4.9)	7969 (4.3)	82488 (44.5)
85歳以上95歳未満	8057 (4.3)	6469 (3.5)	56981 (30.7)
95歳以上	1725 (0.9)	1264 (0.7)	6570 (3.5)
合計	23632 (12.7)	20389 (11.0)	185543 (100)

注： サービス利用経験がないので正確な年齢不明の場合、生年から年齢を算出して補った。



図Ⅲ・2-2 年齢階層別認定状況

(9) 性別認定状況

次に、調査対象期間に認定された認定結果を性別も入れ年齢階層別にみると、表Ⅲ-2-12のような分布を示した。また、その結果を要介護度別に図にしたものが図Ⅲ-2-3~図Ⅲ-2-8である。

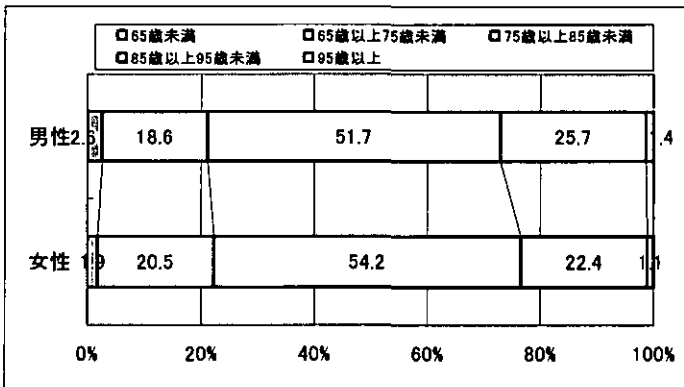
これらの結果より、男性と女性を比べてみると要支援や要介護度1など、比較的介護の必要量が少ない高齢者群ではその要介護度をうけた男性と女性に年齢構成に違いはあまりみられず、男性においては、どの要介護度においてもその年齢構成の割合はあまり変化が見られない。

一方、女性は、要介護度が高くなるにしたがって、年齢構成の割合が変化し、年齢の高い高齢者の割合が増えていることがわかる。

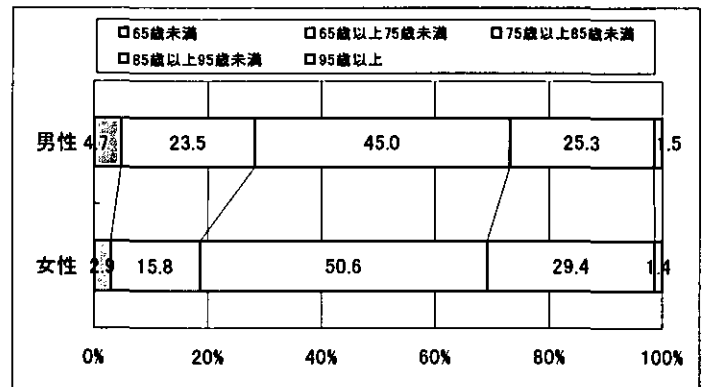
表Ⅲ-2-12 性別年齢構成別認定状況

	要支援		要介護度1		要介護度2		要介護度3	
	男性 N (%)	女性 N (%)	男性 N (%)	女性 N (%)	男性 N (%)	女性 N (%)	男性 N (%)	女性 N (%)
65歳未満	135 (0.2)	333 (0.3)	560 (1.0)	1000 (0.8)	1025 (1.9)	1166 (0.9)	543 (1.0)	627 (0.5)
65歳以上75歳未満	966 (1.8)	3668 (2.8)	2793 (5.1)	5459 (4.2)	3340 (6.1)	3399 (2.6)	2599 (4.8)	2477 (1.9)
75歳以上85歳未満	2694 (4.9)	9720 (7.4)	5357 (9.8)	17484 (13.3)	5958 (10.9)	12444 (9.5)	4096 (7.5)	7643 (5.8)
85歳以上95歳未満	1338 (2.5)	4014 (3.1)	3015 (5.5)	10158 (7.7)	3274 (6.0)	10785 (8.2)	2529 (4.6)	7342 (5.6)
95歳以上	73 (0.1)	199 (0.2)	180 (0.3)	486 (0.4)	353 (0.6)	1015 (0.8)	268 (0.5)	1007 (0.8)
合計	5206 (9.6)	17934 (13.7)	11905 (21.9)	34587 (26.4)	13950 (25.6)	28809 (22.0)	10035 (18.4)	19096 (14.6)

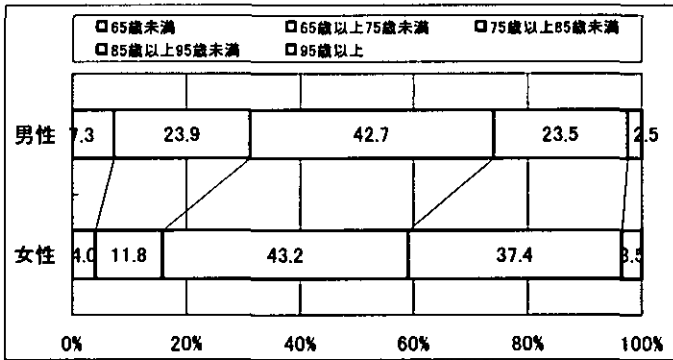
	要介護度4		要介護度5		合計	
	男性 N (%)	女性 N (%)	男性 N (%)	女性 N (%)	男性 N (%)	女性 N (%)
65歳未満	504 (0.9)	510 (0.4)	474 (0.9)	520 (0.4)	3241 (6.0)	4156 (3.2)
65歳以上75歳未満	2121 (3.9)	1592 (1.2)	2143 (3.9)	1550 (1.2)	13962 (25.6)	18145 (13.8)
75歳以上85歳未満	3107 (5.7)	6016 (4.6)	2195 (4.0)	5774 (4.4)	23407 (43.0)	59081 (45.1)
85歳以上95歳未満	1513 (2.8)	6544 (5.0)	991 (1.8)	5478 (4.2)	12660 (23.3)	44321 (33.8)
95歳以上	169 (0.3)	1556 (1.2)	132 (0.2)	1132 (0.9)	1175 (2.2)	5395 (4.1)
合計	7414 (13.6)	16218 (12.4)	5935 (10.9)	14454 (11.0)	54445 (100)	131098 (100)



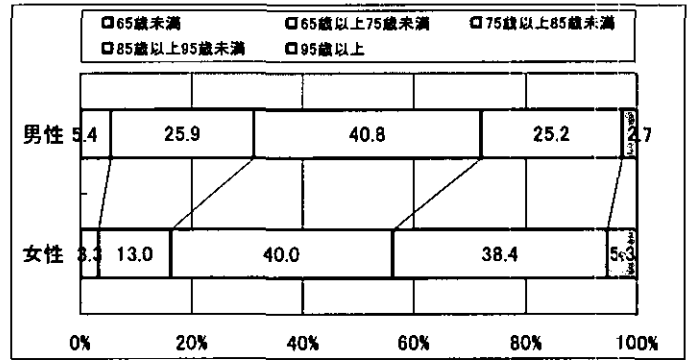
図Ⅲ-2-3 性別認定状況 (要支援)



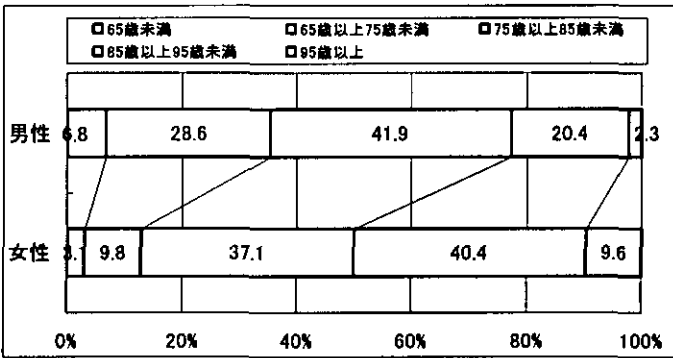
図Ⅲ-2-4 性別認定状況 (要介護度1)



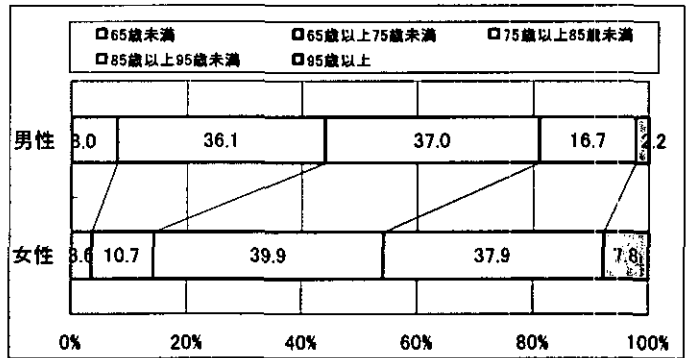
図III-2-5 性別認定状況（要介護2）



図III-2-6 性別認定状況（要介護3）



図III-2-7 性別認定状況（要介護4）



図III-2-8 性別認定状況（要介護5）

(10) 入所状態別認定状況

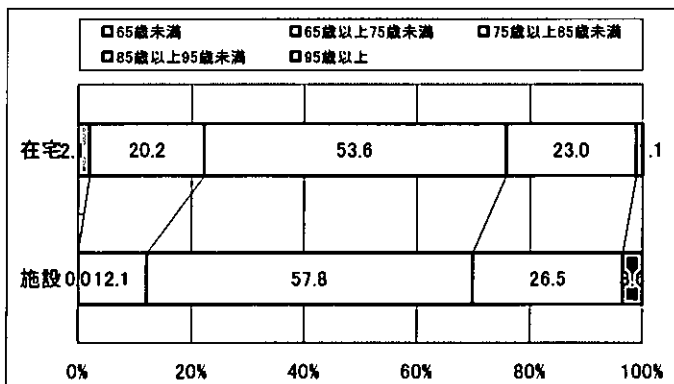
調査対象期間に認定された認定結果を入所状態（在宅サービス利用か施設サービス利用か）を入れ年齢階層別にみると、表Ⅲ-2-13のような分布を示した。また、その結果を要介護度別に図にしたものが図Ⅲ-2-9~図Ⅲ-2-14である。

これらの結果より、どの要介護度においても、施設サービスを利用しているのは年齢階層が高い階層であることがわかる。また、どちらの入所状態であっても、その年齢構成の割合は要介護度によらず、あまり大きな変化は見られない。

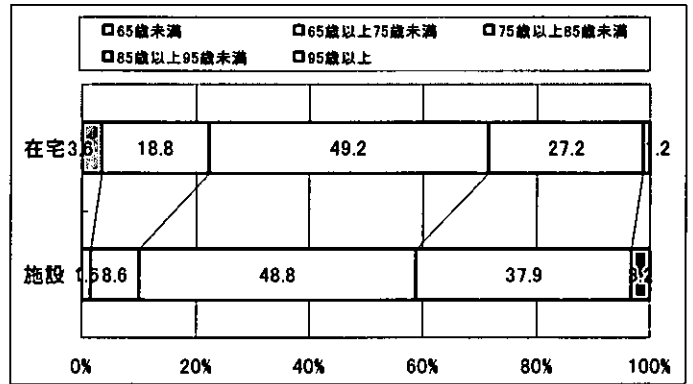
表Ⅲ-2-13 入所状態別年齢階層別認定状況

	要支援		要介護度1		要介護度2		要介護度3	
	在宅 N (%)	施設 N (%)	在宅 N (%)	施設 N (%)	在宅 N (%)	施設 N (%)	在宅 N (%)	施設 N (%)
65歳未満	468 (0.3)	0 (0)	1487 (1.0)	73 (0.2)	2059 (1.4)	132 (0.3)	1103 (0.8)	67 (0.2)
65歳以上75歳未満	4569 (3.2)	65 (0.2)	7842 (5.5)	410 (1.0)	5892 (4.1)	847 (1.9)	3942 (2.7)	1134 (2.9)
75歳以上85歳未満	12105 (8.4)	309 (0.7)	20515 (14.3)	2326 (5.5)	13991 (9.7)	4411 (10.8)	7902 (5.5)	3837 (9.4)
85歳以上95歳未満	5210 (3.6)	142 (0.4)	11386 (7.9)	1807 (4.3)	10450 (7.3)	3609 (7.9)	6576 (4.6)	3295 (8.2)
95歳以上	253 (0.2)	19 (0.0)	512 (0.4)	154 (0.4)	1007 (0.7)	361 (0.9)	738 (0.5)	537 (1.2)
合計	22605 (15.7)	535 (1.3)	41722 (29.0)	4770 (11.4)	33399 (23.2)	9360 (21.8)	20261 (14.1)	8870 (21.8)

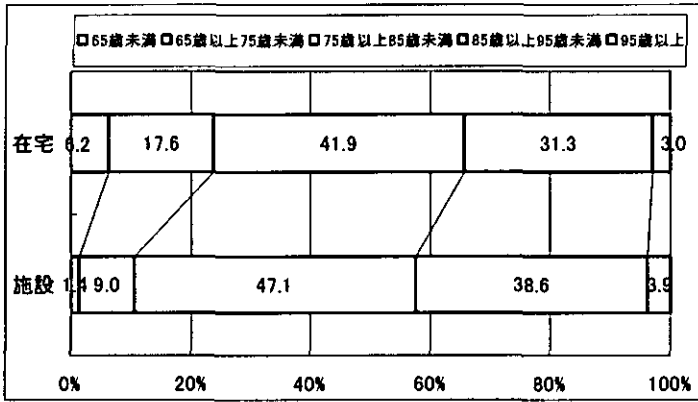
	要介護度4		要介護度5		合計	
	在宅 N (%)	施設 N (%)	在宅 N (%)	施設 N (%)	在宅 N (%)	施設 N (%)
65歳未満	882 (0.6)	132 (0.3)	841 (0.6)	153 (0.4)	6840 (4.8)	557 (1.3)
65歳以上75歳未満	2528 (1.8)	1185 (2.8)	2693 (1.9)	1000 (2.5)	27466 (19.1)	4641 (11.3)
75歳以上85歳未満	5107 (3.6)	4016 (10.1)	4411 (3.1)	3558 (8.3)	64031 (44.5)	18457 (44.8)
85歳以上95歳未満	4131 (2.9)	3926 (9.6)	3682 (2.6)	2787 (6.7)	41415 (28.8)	15566 (37.0)
95歳以上	922 (0.6)	803 (1.8)	686 (0.5)	578 (1.2)	4118 (2.9)	2452 (5.5)
合計	13570 (9.4)	10062 (24.6)	12313 (8.6)	8076 (19.2)	143870 (100)	41673 (100)



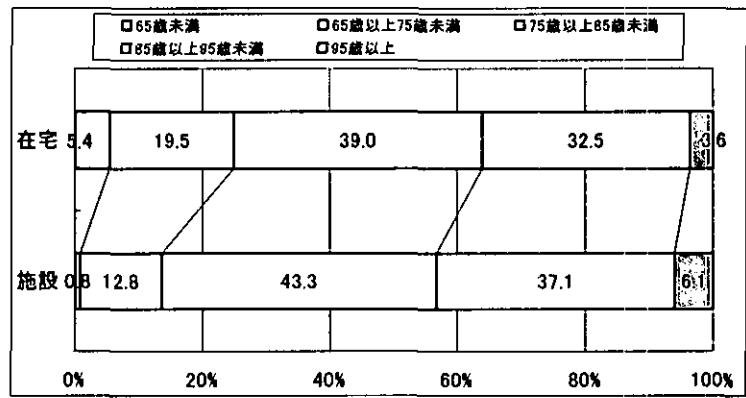
図Ⅲ-2-9 入所状況別認定状況 (要支援)



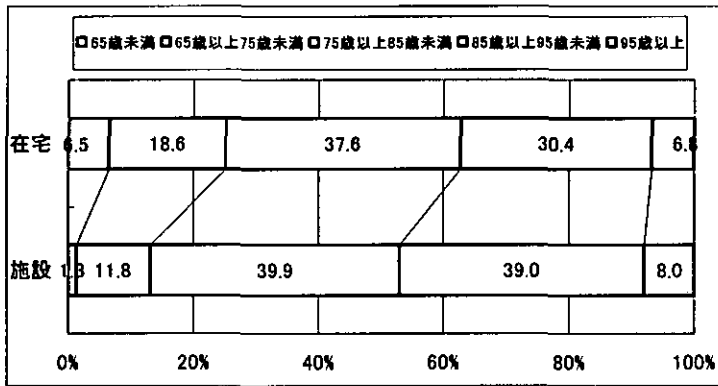
図Ⅲ-2-10 入所状況別認定状況 (要介護度1)



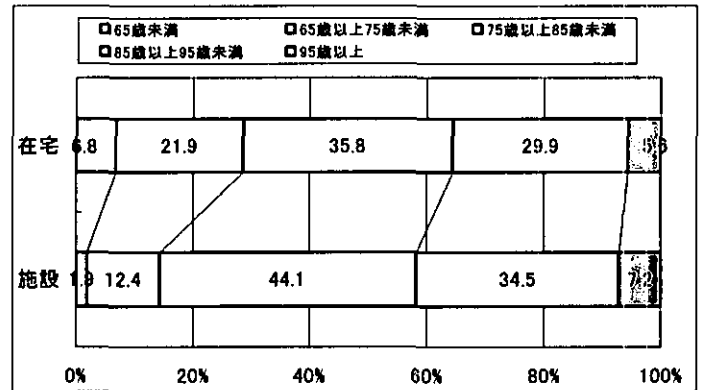
図Ⅲ-2-11 入所状況別認定状況（要介護2）



図Ⅲ-2-12 入所状況別認定状況（要介護3）



図Ⅲ-2-13 入所状況別認定状況（要介護4）



図Ⅲ-2-14 入所状況別認定状況（要介護5）

3.A 市に居住する要介護高齢者の基本情報

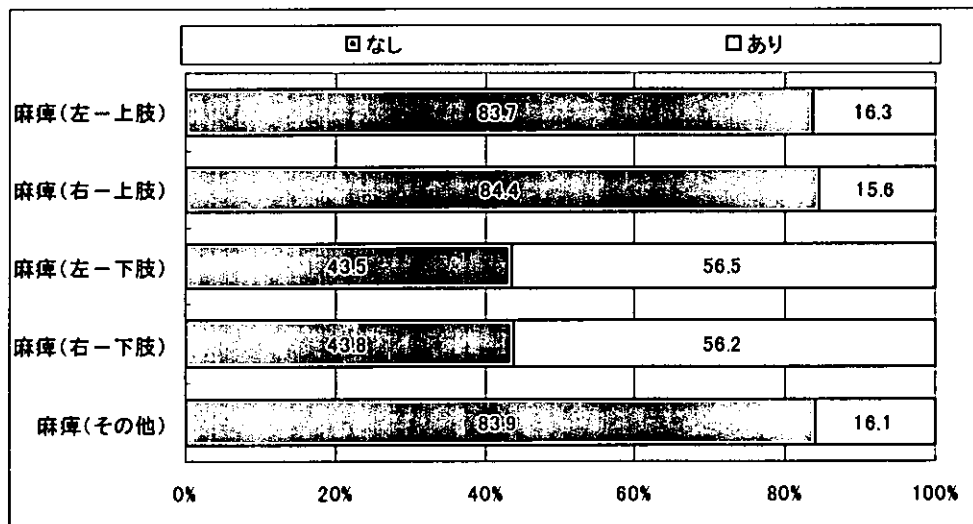
(1) 基本情報のデータ

平成12年4月から平成15年3月までの36か月分の要介護認定基本調査項目の調査結果から、利用者の状態を概観する。これらのデータは、A市で36か月間に、要介護認定を受けたのべ30,870人月の分析結果である。

(2) 基本動作

①麻痺の状態

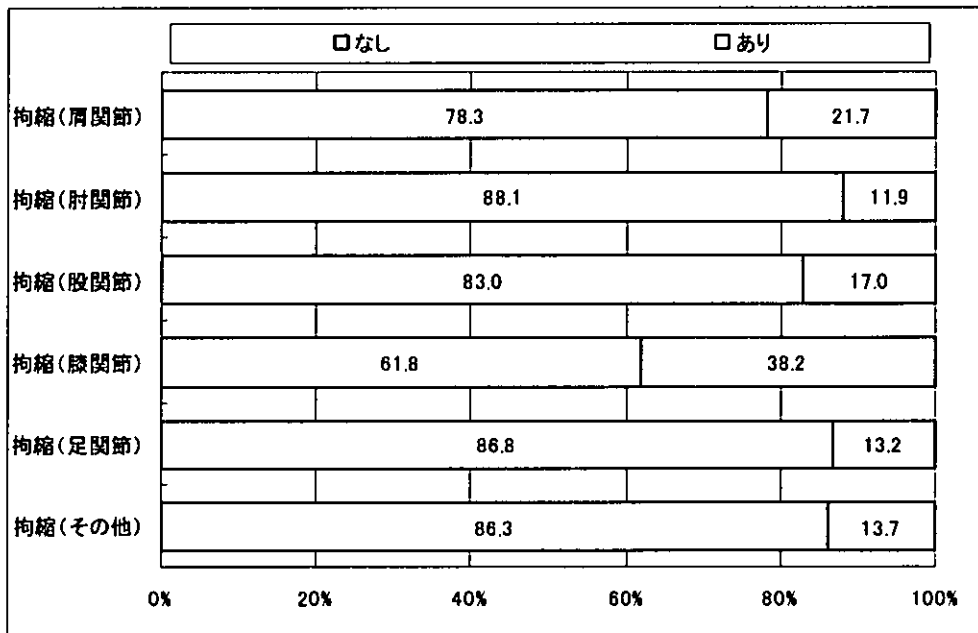
麻痺の状態については、左上肢「あり」は5,018名(16.3%)、右上肢「あり」は4,801名(15.6%)、左下肢「あり」は17,437名(56.5%)、右下肢「あり」は17,361名(56.2%)、その他「あり」は4,959名(16.1%)であった。



図Ⅲ-3-1 麻痺の有無 (N=30,870)

②拘縮の状態

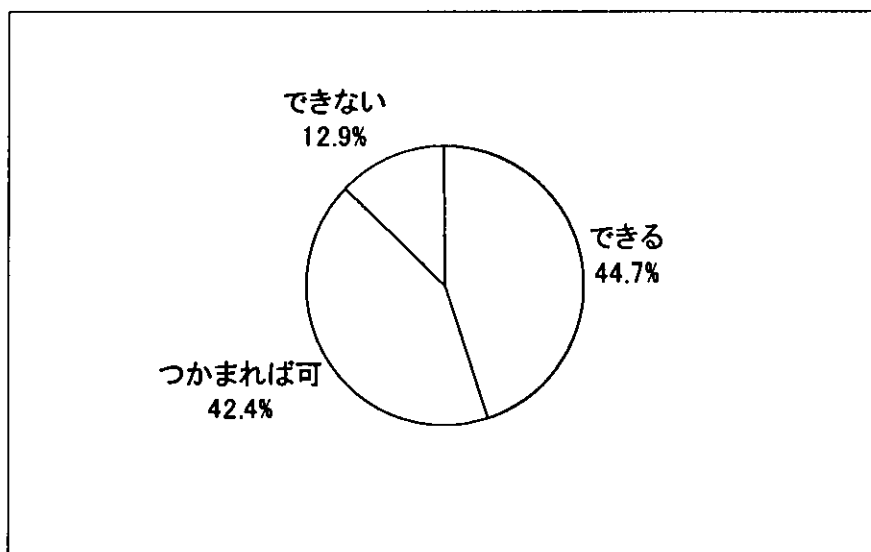
肩・関節可動域制限の状態については、肩関節「あり」は6,714名（21.7%）、肘関節「あり」は3,685名（11.9%）、股関節「あり」は5,256名（17.0%）、膝関節「あり」は11,791名（38.2%）、足関節「あり」は4,085名（13.2%）、その他「あり」は4,218名（13.7%）であった。



図Ⅲ-3-2 拘縮の有無 (N=30,870)

③寝返り

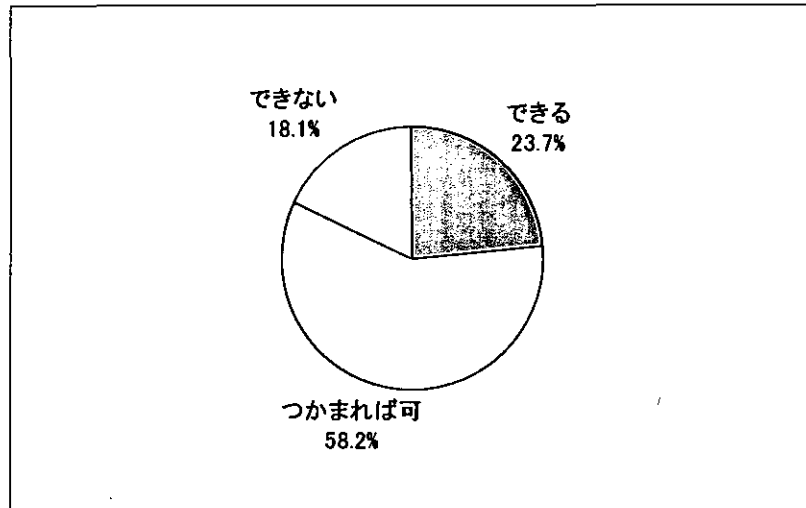
寝返りについては、「できる」13,785名（44.7%）、「つかまればできる」13,100名（42.4%）、「できない」3,985名（12.9%）であった。



図Ⅲ-3-3 寝返り (N=30,870)

④起き上がり

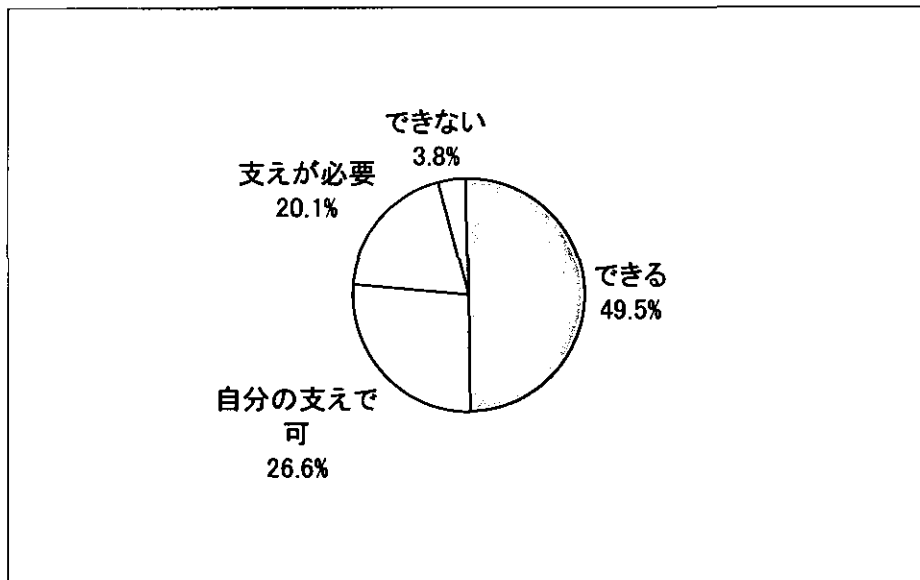
起き上がりについては、「できる」7,324名(23.7%)、「つかまればできる」は17,961名(58.2%)、「できない」5,585名(18.1%)であった。



図Ⅲ-3-4 起き上がり (N=30,870)

⑤両足がついた状態での座位保持

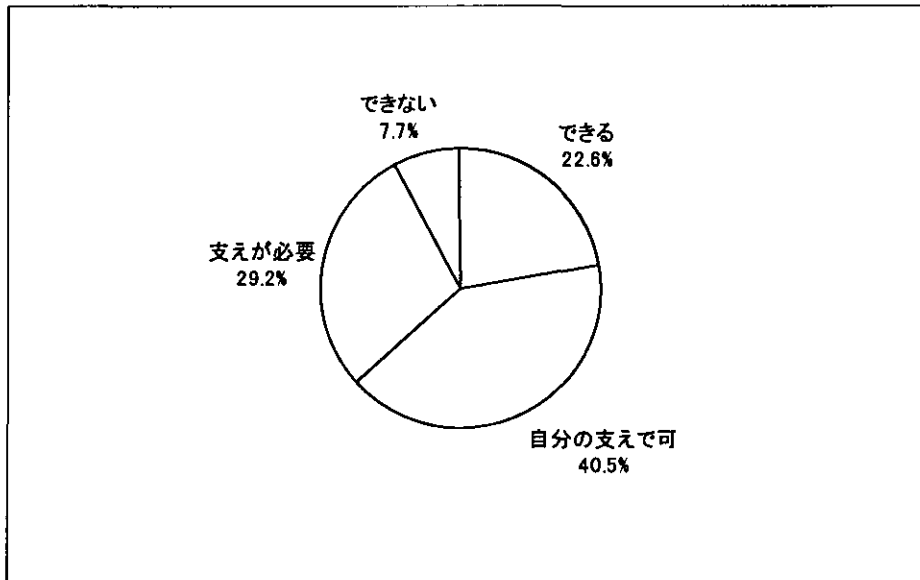
両足がついた状態での座位保持については、「座位ができる」は15,290名(49.5%)、「自分の手で支えれば座位ができる」8,203名(26.6%)、「支えが必要」6,212名(20.1%)、「座位ができない」1,165名(3.8%)であった。



図Ⅲ-3-5 両足がついた状態での座位保持 (N=30,870)

⑥両足がつかない状態での座位保持

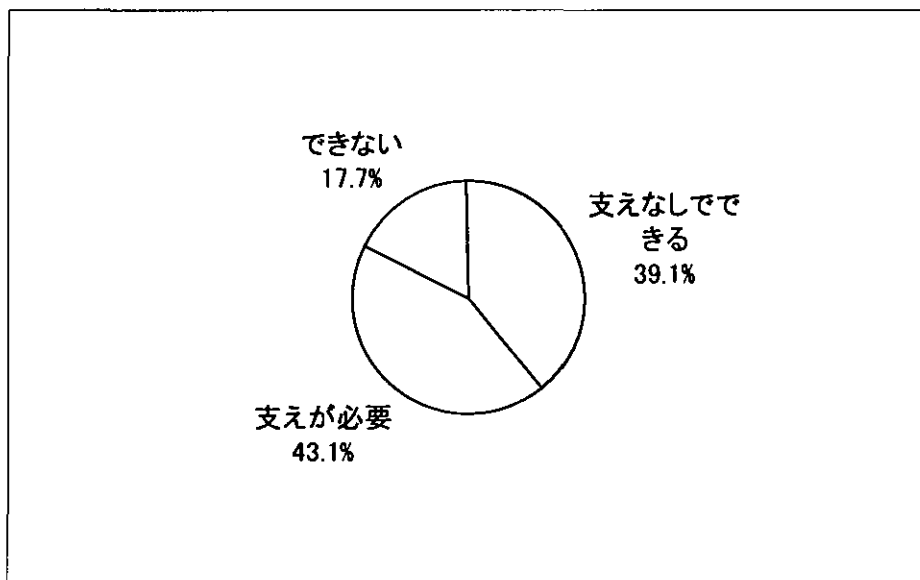
両足がつかない状態での座位保持については、「座位ができる」6,973名(22.6%)、「自分の手で支えれば座位ができる」12,493名(40.5%)、「支えが必要」9,013名(29.2%)、「座位ができない」2,391名(7.7%)であった。



図Ⅲ-3-6 両足がつかない状態での座位保持 (N=30,870)

⑦両足での立位保持

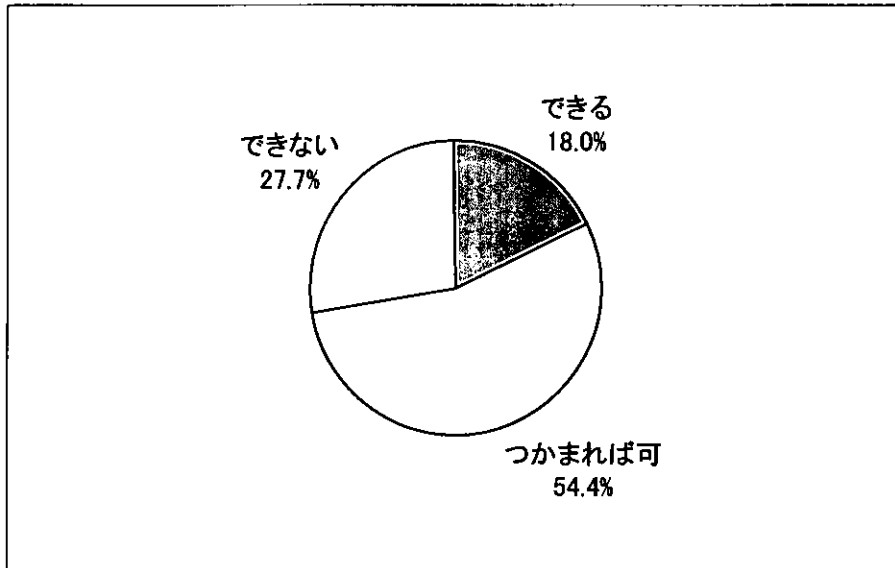
両足での立位保持については、「支えなしでできる」12,079名(39.1%)、「支えが必要」13,315名(43.1%)、「できない」5,476名(17.7%)であった。



図Ⅲ-3-7 両足での立位保持 (N=30,870)

⑧歩行

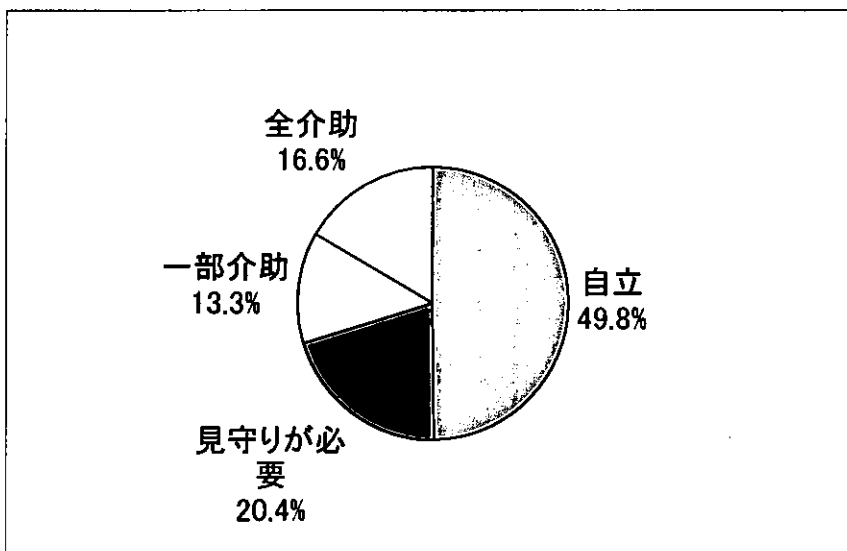
歩行については、「できる」5,547名(18.0%)、「ものにつかまるなどして」16,780名(54.4%)、「歩行ができない」8,543名(27.7%)であった。



図Ⅲ-3-8 歩行 (N=30,870)

⑨移乗能力

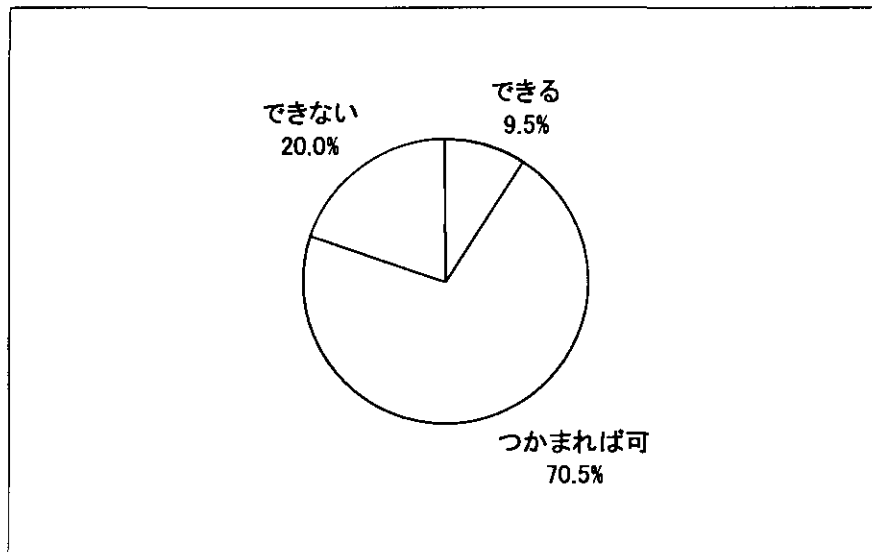
移乗能力については、「自立」は15,378名(49.8%)、「見守りが必要」が6,283名(20.4%)、「一部介助」が4,099名(13.3%)、「全介助」が5,110名(16.6%)であった。



図Ⅲ-3-9 移乗能力 (N=30,870)

⑩立ち上がり

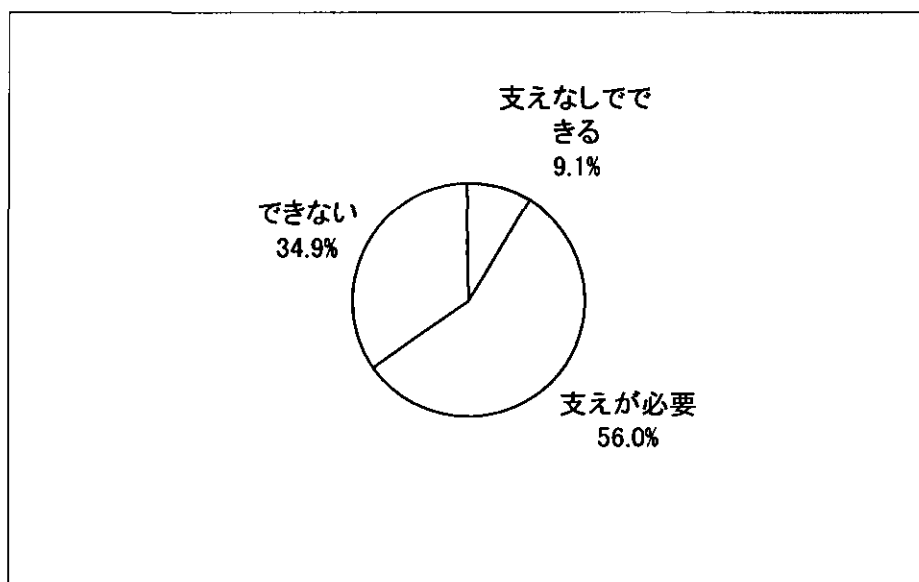
立ち上がりについては、「何もつかまらないでできる」2,923名（9.5%）、「つかまればできる」21,762名（70.5%）、「できない」6,185名（20.0%）であった。



図Ⅲ-3-10 立ち上がり (N=30,870)

⑪片足での立位保持

片足での立位保持については、「片足をあげることができる」2,804名（9.1%）、「手で支えて立位保持できる」17,279名（56.0%）、「立位保持できない」10,787名（34.9%）であった。

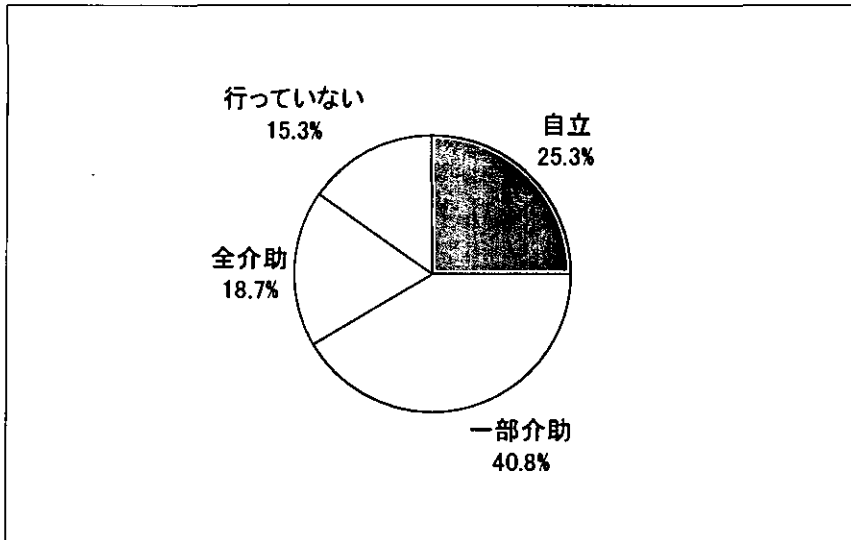


図Ⅲ-3-11 片足での立位保持 (N=30,870)

(3) 日常生活動作等

①浴槽の出入り

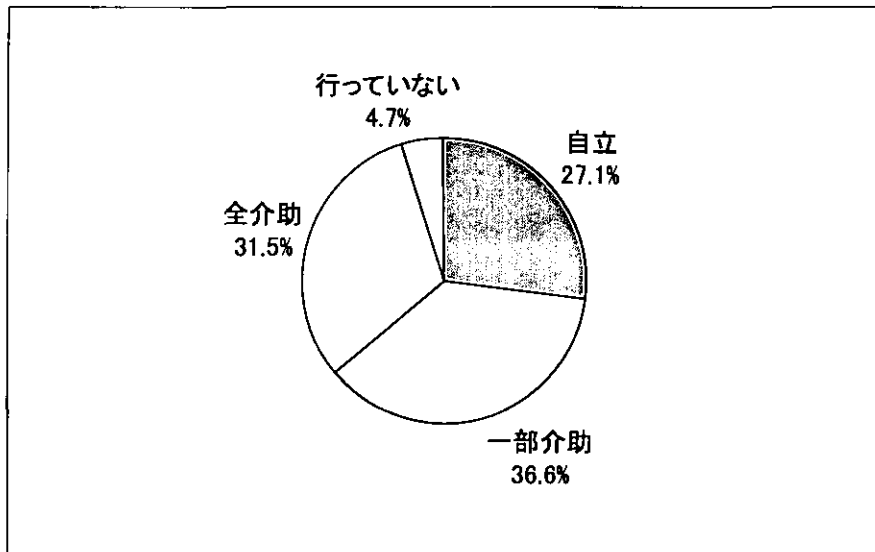
浴槽の出入りについては、「自立」7,795名(25.3%)、「一部介助が必要」は12,585名(40.8%)、「全介助が必要」5,774名(18.7%)「行っていない」は4,716名(15.3%)であった。



図Ⅲ-3-12 浴槽の出入り (N=30,870)

②洗身

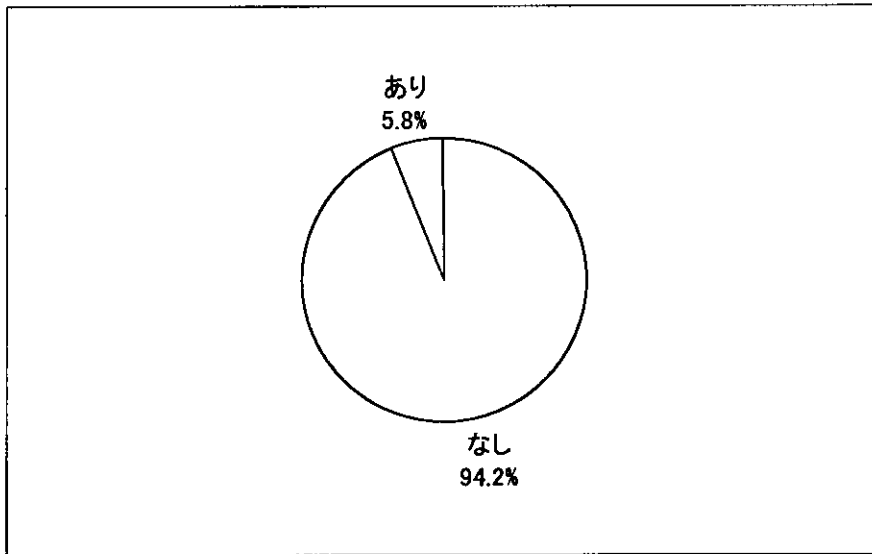
洗身については、「自立」は8,369名(27.1%)、「一部介助が必要」は11,304名(36.6%)、「全介助が必要」は9,739名(31.5%)、「行っていない」は1,458名(4.7%)であった。



図Ⅲ-3-13 洗身 (N=30,870)

③褥創の有無

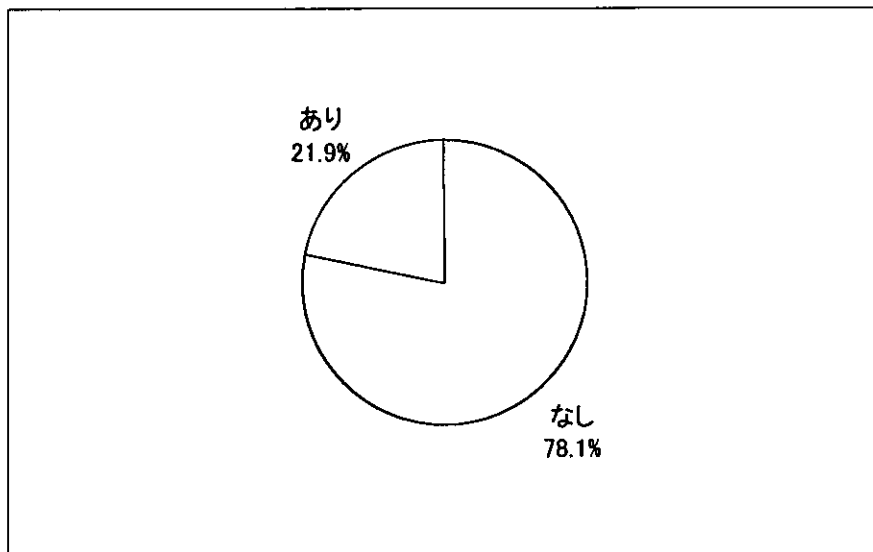
褥創の有無については、「あり」1,782名(5.8%)、「なし」は29,088名(94.2%)であった。



図Ⅲ-3-14 褥創の有無 (N=30,870)

④褥創以外の皮膚疾患の有無

褥創以外の皮膚疾患の有無については、「あり」6,746名(21.9%)、「なし」は24,124名(78.1%)であった。



図Ⅲ-3-15 褥創以外の皮膚疾患の有無 (N=30,870)